

教会だより

松本カトリック教会
教会委員会
松本市丸の内9-32
TEL 0263-32-0795

《神父のつぶやき》

主任司祭 白木信一

2月4日に信徒大会が行われました。小教区在籍信徒数600名を越す信徒の中で、参加者は教会委員会委員及び一粒会➤墓地管理委員を含め約50名でした。いろいろな事情から参加できなかった方々もいらしたことでしょう。また、最初から参加する意志もなかった方々もいらしたことでしょう。しかしながら、松本小教区に所属している方々は、この小教区の構成員であり、松本小教区がキリストの教会として成熟していくための使命を担っているキリスト者です。ですから、松本小教区がどのように歩んでいこうとしているのかを意識することは、大切なことです。

教会の活動というものは、キリストの使命を継承して活動することです。ある神父様は「キリストの建設」と表現されました。それぞれの小教区において、そこに所属するキリスト者が、三位一体との交わりを中心に、互いの交わりを深めながら、それぞれの賜物を活かしながら、キリストのうちに一つのからだとなるための活動とも言えるでしょう。

横浜教区の司牧者である梅村司教様は、「私たちの教会がキリストの教会としてあり続けるためには、三つの欠かせない要素があります。すなわち、祈りがささげられ、信仰が伝えられ、愛の証がなされていることです。」（司教教書『共同宣教司牧に向けた ---地区共同宣教司牧委員会』）と述べ、こうしたことができる成熟した共同体づくりを求めておられます。そのために、小教区においても地区においてもそれぞれの要素を育てていくようにと、それぞれの部門を設けるようにとの意向で、通称「三部門」が設定されました。

これらのことを指導されるのは、キリスト者個人としてまたキリスト者の共同体として、真に「キリストの体」になっていくようにとの望みがあるからだと思うのです。「わたしはぶどうの木で、あなたたちは枝である」（ヨハネ15：5）とのキリストのみことばにある通りに、と。

横浜教区の松本小教区として、司教様の要望に応じていくために、信徒大会で「小教区目標」として示させていただきました。共同体のメンバーとして、共通理解を持つことができなければ、「交わりとしての教会をめざして」一致していくことは難しいでしょう。私たちは、いつもミサの中で祈っています、「キリストの御からだと御血にともにあずかるわたしたちが、聖霊によって一つに結ばれますように」と。このことから、司教様の示されていることは、教会がめざしていることでもあることがお分かりかと思えます。

信徒大会で示した小教区目標を添付しますので、信徒大会に出席されていない方々も、各自意識していただきたいと思えます。また教会生活について、このことぐらひはきちんとした理解をしていただきたいと思ひ、「教会生活について」のプリント（松本教会版）も作成しました。数人の方々がすでに手にしておられるようですが、まだの方々は読んでいただき、自己流の理解となっていないかどうかを確認していただきたいと思ひます。

司教様が示される教会の要望を意識しながら、共に歩んでまいりましょう。



《教会委員会より》

- 3月30日(土) 復活徹夜祭後、1品持ち寄りでパーティー実施。
- 3月31日(日) 10時の復活祭ミサ後、茶話会。
- 生涯養成を担当する方がいない為、黙想会の開催は困難。
黙想会を各部署で連携して行う方法も検討の余地が有る。検討を重ねる。
- こどものためのミサは、その趣旨が明確でないため、現状のままとする。
- 葬儀に関しては、司祭が増えない限り要望に沿えない。
委員長に死去情報が届いた場合には、メールで神父に情報を伝え、それを基に神父から連絡が届く。将来的には、信徒が葬儀をできるように、検討も必要。
- マリア会の連絡網をベースに地区別連絡網を検討する必要がある。
- マリア会も前例に拘らわれずに活動内容を見直すことが大切。
- 週報は、作成者がいないので用意しない。
掲示板とミサでの連絡、ホワイトボードの活用を試行する。

<聖堂へのエアコン設置について>

2月4日の信徒大会の際「今年度計画している聖堂のエアコン設置」に関するご意見を頂きました。本件につきましては、近年の温暖化・特に昨夏の猛暑に伴い信徒の皆様からの要望を受け、教会委員会で検討・予算化したものですが、今まで皆さまへのお知らせ・周知ができておりませんでした。申し訳ございません。

本件の現状進捗についてお知らせします。

- ・複数の業者からの見積もりをベースに、現在初期投資及び維持費(稼働時の電気代等)をできるだけ抑えられるような形で計画の検討を進めています。まだ、最終案には至っておりません。
- ・戦争や為替影響により昨年来資材の価格が高騰しており、大会の際にも説明したとおり、最終見積もりが予算額を上回る可能性があります。2024年度の予算は、将来の聖堂の大規模改修・建て替え等の目的で積み立てている運用基金の取り崩しや積立中断をしない範囲でエアコン設置を予算化していますが、仮に最終見積もりが予算額を上回った場合も、できるだけこの前提を崩さない形で進める所存です。
- ・「エアコンの導入は、聖堂の建て替えに合わせて行えばよいのではないか」というご意見もありました。しかし、運用基金が聖堂の建て替えまたは大規模改修を具体的に検討できる水準(仮に7,000万円と推定)まで積み上がるのは18~20年先であり、それまでエアコン導入を待つという選択は、近年の猛暑を考えると現実的ではないという意見にまとめ、教会委員会として設置の方向で検討している次第です。

最終案がまとまった時点で、改めて内容を皆さまにお知らせ・周知させて頂く予定です。

2024年教会委員の紹介

委員長：田中利明	総務：大浜崇
典礼：宮下恵子	社会福祉：北野いつみ
財務：河合保治	養成：寺島かおり
フィリピンコミュニティ：吉田アイリン	

この度、養成委員長を務めさせていただきます、寺島かおりと申します。教会学校を通して、お子さんたちに「教会の信仰の仲間」「兄弟姉妹の交わりの大切さ」を少しでも伝えられたら嬉しいなと思っています。皆様のお力をお借りして頑張りたいと思います。よろしく願いいたします。

社会福祉委員会より感謝とお願い

日頃より社会福祉委員会活動に皆さまの温かいご支援とご協力をいただき心から感謝を申し上げます。2023年度、おしゃべりカフェ&ミニショップでは141,560円（経費を除いた額）の収益があり、例年同様に支援を必要としている各種団体に寄付させていただきました。（詳細は信徒大会資料をご覧ください）またウクライナ支援には381,827円の寄付がありました。すべてJCFへ送らせていただきました。

その他大阪西成「ふるさとの家」へはほぼ毎月、千葉「カニタ婦人の村」へは一度、雑貨・衣類を送付、東京「カリタスの家」へは古切手を2回送付しました。

元旦に起こった能登半島地震への聖堂募金は2/11現在128,461円です。

この内の110,994円と1月のおしゃべりカフェ売上(18,051円)、岩岡さんパッチワーク作品売上(128,200円)、クリスマスグッズ売上(3,267円)を合計した260,512円（手数料込）をカリタスジャパンへ1/15に送りました。

ミゼリコルディア会は来たくても教会に来られない方々のために寄り添った様々な活動を続けています

このように社会福祉委員会は皆さまのお気持ちを、支援を必要としている方々の元に届けるために日々活動していますが、ミニショップで販売する雑貨・衣類は減少傾向にあり、またおしゃべりカフェ&ミニショップにお立ち寄りくださる方々も減っています。

ぜひ皆さま、社会福祉委員会の活動にご理解をいただきご協力をよろしくお願いいたします。

おしゃべりカフェ&ミニショップは毎月第三日曜日ミサ後に行います（8月と12月には行いません）

一緒に活動してくださる仲間も募集中です!!

社会福祉委員会

《 聖週間の予定 》

- 3月24日受難の主日
 - ・ 7時ミサ：行列はありません。
神父様がミサ前に枝を祝別してください。
帰りに枝をお持ちください。
 - ・ 10時ミサ：行列があるので10分前にルルドの前に集合してください。
行列の歩行が困難な方は、聖堂の中でお待ちください。
駐車場は、15分前から車は入れません。
- 3月28日 聖木曜日 19時
- 3月29日 聖金曜日 19時
- 3月30日 復活徹夜祭19時
- 3月31日 復活主日 10時（7時なし）

聖木、聖金、徹夜祭のリーフレットはありません。教会の聖週間冊子は数に限りがありますので、聖週間冊子をお持ちの方は、ご持参ください。
教会として復活の卵は用意しませんが、自主的に行っていただけの場合は、卵代は教会で負担しますので、事前にお申し出ください。

転籍

来原貴美（くるはらきみ）さん
「東京から移り住んで23年になります。
長野の景色が大好きです。」

よろしく願いいたします。



転入

山家善一郎（やまやぜんいちろう）さん
（東京・碑文谷教会より）

よろしく願いいたします。